

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 90 号 2022 年夏号

2022 年 9 月 2 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415
<http://nadogaya-biotope.com/>

環境省「令和 4 年度 地域環境保全功労者賞」 受賞しました



表彰状と副賞 (左のデジタル時計)

梅雨が短く、6月に猛暑日が一週間続いた後に梅雨戻りの大雨、西欧では気温が 40 度を超える等世界中で異常な気象が多発しています。ビオトープでも一時ザリガニ釣り場が 2 年ぶりに渇水しました。

この度、名戸ヶ谷ビオトープを育てる会が環境省の「令和 4 年度地域環境保全功労者賞」を受賞しました。平成 15 年に設立以降、ビオトープの保全に取り組むほか、小学生を対象とした自然観察や体験学習の支援等の貢献が

評価されました。発足時の会員諸先輩をはじめ柏市環境政策課、現会員の皆様のご尽力の賜物です。心より感謝申し上げます。表彰状は作業小屋に掲示してあります。(副賞はデジタルハイブリット掛け時計です。)

*環境大臣賞は、昭和 54 年度に創設され(環境保全の推進のため、多年にわたり、顕著な功績のあった者・団体を対象)今年是全国で 54 件(20 人と 34 団体)が受賞しました。

(小笠原 智)

今年も土小学校 1、2 年生が ビオトープで初夏の観察会です

今年も土小の「校地外学習」が6月3日にビオトープで行われ、校長はじめ先生方、父兄と児童126名が来訪しました。「ザリガニ釣り」や「いきもの観察」でトンボやチョウ、ドジョウ等を捕まえて観察し楽しい時間を過ごしました。子供たちからの生きものに関し

て難しい質問もあり、子供目線での観察力に驚きもありました。今回は田んぼに落ちる等の事故もなく、生きものを元に戻して帰路につきました。後日、児童全員からの「感謝お便り」をもらい、楽しく読ませていただきました。(小笠原 智)



ホタル広場に全員が集合して説明を聞きました



田んぼの水路で生きものを発見かな

大賀ハスが開花しました



3年前に会員の山村さんの友人より頂いた「大賀ハスの実」を育て、この夏に休耕田で開花しました。最初の開花は大賀博士が古代遺跡よりハスの実を発見した50年後の記念日(7月18日)でした。ピンクの大輪に皆さんから感嘆の声が聞かれました。(小笠原 智)

ハイケボタルの観察会

今年も恒例の観察会を6月に3回実施しました。ビオトープ掲示板にポスターを掲示し多くの参加者が見えました。今回は過去最高の16匹観察され、ホタル水路周辺のみならず回生の里側周辺の広範囲に渡りました。参加者の多くが飛び交う姿に感動し貴重な体験が出来たと思います。今回も小笠原会長の設置された遮光ネットで観察もしやすくなりました。昨年は2匹と低調でしたが一気に増加で、引き続きホタルの生育環境作りを行っていきます。

観察会参加の皆様、大変ありがとうございました。

※4月16日(土)、松清さんの飼育された幼虫約100匹をホタル水路へ放流 (藤平 三郎)

- ・第1回目 6月12日(日) 19:45～
気温20度、月あかり、8匹を確認。ホタル水路の周辺、一部桜の木の周りを飛翔。参加者は会員家族ら10名。
- ・第2回目 6月19日(日) 19:45～
気温24度、曇り、やや南風吹く、15匹を確認。ホタル水路周辺で一部飛翔10匹と回生の里側近くの木道沿い5匹発光。参加者は会員家族、近隣市民 計14名。
- ・最終回 6月25日(土) 19:45～
気温28度、南風やや強い、月はなし、16匹を確認。ホタル水路周辺10匹と回生の里側近くの木道沿い5匹と三角池1匹。参加者は会員家族、近隣市民 計20名超。

東武バス車庫の外灯の向きを変えて頂きました

ホタルの生育や観察には暗闇が必須ですが、バス車庫にある外灯からホタル水路側に光が照射され、ここ数年遮光ネットを掛けて対処してきました。東武バス沼南営業所に外灯の向き替えをお願いし、7月4日夜に高所作業車で向きを変えました。営業所長にも立ち合っ

ていただきました。ネットは風で破けたり、隙間から光が漏れたりしましたが、今後は心配なく観察でき、ホタルの自然発生にも繋がると期待しています。ご協力に心から御礼申し上げます。(小笠原 智)



春の生態調査実施

6月20日（月）曇り 気温 28度 9:00～10:30

朝から曇天で風もなく蒸し暑い日となりました。春の生態調査を行い松清さん、高橋さん（女性）、堀尾さん、私と4名の参加です。

A、Bゾーンをくまなく回り、生きものを確認しました。

鳥類が割合少なくカルガモやサギなどは飛来していません。不明なものは図鑑などで確認し合計 44 種でした。昨年同時期に比べて増えております。

皆様の環境保全活動によりビオトープは維持されています。

（藤平 三郎 ※生きものの写真は松清）



Bゾーンを調査中



図鑑等で名前を確認



模様の珍しいナミテントウ



外来種のキマダラカメムシ



ツバメシジミ



目玉模様のハグルマトモエ



交尾中のゴマダラカミキリ

月例活動状況のお知らせ（6月から8月まで）

6月18日（土）

A ゾーン 田んぼのコナギ（水田雑草）取りと B ゾーンのヨシなどの刈取り作業を行いました。コナギ取りは大勢で撈り、田んぼ1枚と少しを残しました。今回はまだ小さいものでしたが暖かさと共に一気に増えてきます。



田んぼのコナギ取り



B ゾーン北側の草刈り



B ゾーン回生の里側の草刈り

7月18日（月）祝日

A ゾーン休耕田 ガマ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウ、B ゾーン ヨシ、セイタカアワダチソウの刈取りと市道わきの草刈り作業です。湿度も高く、熱中症に注意し行いました。終わって環境省の表彰状と副賞のソーラー時計を見ながら歓談し終えました。



B ゾーン北側道路脇の刈取り



A ゾーン東側水路脇の刈取り



市道沿い 草刈り機による刈取り

8月20日（土）

A ゾーンアメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウ、B ゾーン セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、ツルの刈取りと市道わきの草刈り作業しました。

最初に小笠原会長から作業内容の説明と「回生の里」の打ち合わせの概要について説明がありました。作業終了後は、会員差し入れのスイカを美味しく頂きながら歓談しました。

以下刈取り作業

（藤平 三郎）



B ゾーン北側土手



A ゾーン南北木道沿い



B ゾーン回生の里側木道沿い



市道沿い

新入会員の紹介

伊藤孝太郎さん



柏に住み6年。ビオトープに関心を持っていました。

見学をした際の会員の皆様の自然を大切にされている姿に感銘し参加させていただくことにしました。

5月5日の田植え・菖蒲狩りで初めて菖蒲の「花」を知りました。写真を知人等に見せましたが全員知りませんでした。

食料自給率の低い日本に於いて稲作は重要課題と考えます。

ここでの体験を孫や私の接する人に伝えたいと思います。

活動を通じて新たな発見を楽しみにしております。

9～11月の活動予定

- 9月 ●10・11日：稲刈り
●17日：生き物観察会
●17日：9月定例活動日

- 10月 ●12日：生態調査
●15日：10月定例活動日

- 11月 ●19日：11月定例活動日

注) 詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）